

12 番 吉岡 鳴人 議員

1 農業政策について

- (1) 本年「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定されるとともに、本県では「かごしま食と農の県民条例」が改正され、一層の持続的な安定供給のための生産力強化が求められている。一方で、本市は市独自施策を打ち出すなど、担い手確保や産地の育成に取り組んでいるが、農林業センサスによると基幹的農業従事者数は年々減少し、平成 27 年からの 5 年間で半減している。そこで、中核的な担い手と新規就農者の確保、半農半 X（兼業農家）への取組について示されたい。

2 職員の確保・育成について

- (1) 急激に変化する社会の中、人材確保対策や人材育成強化など不断の改革が求められている。このような中、本市では本年「鹿屋市人材育成ビジョン」を策定し、職員の能力向上や職場環境づくりを図っている。そこで、職員のやりがいや成長が市民の満足に直結するとの観点からエンゲージメントを高めるべく、その取組の特徴と効果、今後の展望について示されたい。

3 環境政策について

- (1) 2050 年のゼロカーボンシティかのやの実現に向けて、本市では「ゼロカーボンシティかのや推進計画」を策定している。産業や暮らしなど、目指す将来像である脱炭素社会の実現に事業者や市民が取り組んでいると理解する。そこで、市民への還元や環境教育の推進について、地域通貨を活用した取組で環境学習機会の拡充と地域経済活性化を図る考えはないか。